

# よかよかだより

ボランティア出前講座②

## 4原則の一つ「自主性・主体性」とは

2020年10月号からシリーズで紹介している「ボランティア出前講座」。今回はボランティア活動の4原則(特性)を紹介しました。

今回は4原則の一つ「自主性・主体性」について、広川町で30年以上活動を続けている「朗読ボランティア広川テープの会」の細川さん、西村さんにお話を伺いました。

### 団体が発足したきっかけ

細川 視覚に障がいのある人から「広報紙を読んでほしい」と要望を受けたことがきっかけで、昭和63年に発足しました。当時はまだ今のように「ボランティア」という言葉も概念も浸透していません。私は友人から誘われて入会しましたが、ボランティアというより、「それくらいなら私にもできるか

も」という、ちよつとしたお手伝いの気持ちが大きかったです。

西村 昔はボランティアと聞くと経済的にも時間にも余裕がある人がするものだと思っていました。しかし、自分が仕事を辞めたとき、「人とのつながりが消えてしまう」「社会とつながるためには、自分が一歩踏み出さないといけない」と考えました。「自分の好きな広報紙や朗読で誰かの役に立てるなら」と思ったのが、活動をはじめたきっかけです。

### 活動を継続する秘訣

細川 私はこの取り組みを27年続けています。読み聞かせの講座や活動を通して同じ思いをもった仲間とつながることができました。今一緒に活動している仲間巡りに出会ったことで、活動がより楽しく、

自分の人生も豊かになったと感じています。

西村 朗読をすることで、ボランティア活動は決して人のためではなく、自分のためなのだ実感しています。自分の好きな活動を通して「そこにいられる幸せ」を強く感じています。

### これからボランティアを始める人へ伝えたいメッセージ

西村 今はボランティア活動の種類が多様化し、自分に合ったもの、自分が好きなものに出会う機会が、以前より増えていると思います。私が朗読と出会ったように、皆さんもハードルを上げず、一歩踏み出してほしいと思います。

ボランティア活動は、誰かに強制されて始めるものではありません。自分がやりたいと思う気持ちから始まります。

「誰かと楽しくやる」「自分ならこれができる」など、きっかけはどのようなものでも構いません。「自主性・主体性」が、ボランティア活動の根幹、活動の原動力になるのです。

次回(2021年2月号)は……  
ボランティア活動の4原則の一つ「社会性」とは

### ボランティア活動センター「よかよか」

はなやぎの里2階  
平日 8:30 ~ 17:15  
☎ 0943-32-7073  
FAX 0943-32-7074



「朗読ボランティア広川テープの会」の細川さん(右)と西村さん(左)

## 黒船の来航と疫病の侵入 (その4)

### 麻疹とコレラが同時に流行

安政コレラは3年ほどで収束するものの、文久2年に再燃したことを先月号で紹介しました。

久留米藩では文久2年5月ごろから麻疹(はしか)が大流行したようで、『加藤田日記』には「五月頃より麻疹大いに流行、(中略)御領中死人夥敷有之、何国も流行にて江戸杯死人最も多く有之候由」と記されています。松本又左衛門も日記に「八月、九州一統ころりという病流行。ハシカとコロリで、当国(久留米藩)は、万単位死去。肥前長崎あたりは、当国位の事にて無御座候」と記しています。国指定無形民俗文化財「八女福島の燈籠人形」で知られる福島八幡宮の境内には、コレラ石という自然石が祀られています。今日の新型コロナウイルス関係でマスクに取上げられたことから、ご存じの人も多いのではないのでしょうか。いつ祀られたのか定かではありませんが、安政・文久年間に起源をもつかもされません。

本紙2020年10月号で、

コレラの流行や不平等条約の締結などが原因で、外国人に對する世論が厳しくなったことを紹介しました。

すでに周知のごとく、国論は尊攘派と佐幕派に分かれ、京都を中心に両派の確執がいつそう深まります。その要因として、疫病の大流行という背景を無視することはできないという、医学界からの指摘もありました。

### 明治12年

#### 久留米藩内でコレラ発生

維新に至る激動のときを経て明治時代を迎えますが、明治12年(1879年)夏、旧久留米藩内でもコレラが発生しています。久留米における感染者数や死者数の具体的な数値は分かりませんが、3月に四国松山で発生したものが全国へ拡大したようで、「年末までに死者10万人を超える」(『日本全史』講談社)とあります。

岩戸山古墳こそが筑紫若磐井の墓であると指摘した旧久留米藩の歴史学者、矢野一貞(『筑後将士軍談』の著者)も、このときコレラに感染し、犠牲者の一人となっています。

福島八幡宮のコレラ石について、安政・文久年間に起源をもつのでは、と前述しましたが、もう一つの可能性として、明治12年も無関係とは言えないと考えています。

これまで4回にわたりコレラの流行を追ってききましたが、幕末から明治維新にかけての時代推移の背景として、世論が構築される要因の一つに、コレラという疫病のパンデミックがあったと分かります。このような事件が価値観を大きく変えることもあるということの、一つの証拠といえるかもしれません。



福島八幡宮の境内に祀られているコレラ石

### 広川町古墳資料館だより

新型コロナウイルスにより、全国の博物館や美術館は、展示方法を考えさせられることとなりました。当資料館も社会教育施設として、資料のデジタルアーカイブ(DA)化の必要性を感じています。

DAとは、記録精度が高く、再現性に優れたデジタル映像として、貴重な文化遺産を保存・蓄積するものです。現在は3次元スキャンにより、遺跡や仏像、考

古資料もDA化が可能となっています。

これまで博物館へ行かないと見学できなかった展示物も、DA化でデジタル配信すると、いつでもどこでも、誰でも見学できるようになります。デジタルデータを公開して全国の関連機関と連携すれば、調査や研究の幅も大きく広がることでしょう。DAに期待される効果は今後大きくなると考えられます。